

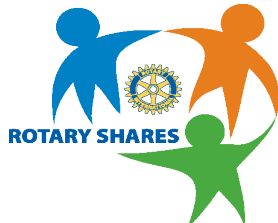
FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会:毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局:藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長:村松 英昭 副会長:青島 克郎 幹事:青島 彰 副幹事:仲田 廣志

第1753回

<ソング> われら日本のロータリアンの歌
<ソングリーダー> 池ノ谷 敏正君



2007-2008年度 RIテーマ
ロータリーは
分かちあいの心
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン



【 富士山 】

写真提供: 青島克郎君

■ 会長報告

村松 英昭君

最近、医療の崩壊という言葉をよく聞きます。私の調べた範囲でお話いたします。

現在、日本の医療システムが崩壊に瀕しています。特に、地方の公立病院は深刻な医師不足に見舞われ、産婦人科、小児科をはじめ診療科を閉鎖する病院がでてきています。

医師不足、病院崩壊のおおもとをたどると、この10年、国が医療費を極端におさえつけてきたことによります。そのたびに、政府は、財政赤字が増大し続けている、このままでは日本政府の財政は破綻してしまう、そのためには医療費を削らなくてはならないと主張してきました。しかし、政府の論理は、誤っています。そもそも医療費や年金、生活保護費、社会福祉費といった社会保障関係費は、景気動向に関係なく、国民にとって必要な経費です。景気が悪いから、病院が潰れ、十分な医療を受けられなくても仕方がないという訳にはいきません。日本の経済危機の主犯は、医療費ではなく、2001年からの小泉改革によって、日本経済が低迷し続け、税収が激減したことが最大の原因です。

医療崩壊が迫っているとはいえ、いまなお日本の医療の水準は高く、WHOによる医療の総合評価で日本は1位です。小泉政権時代、医療改革のモデルとされたアメリカは15位と先進諸国で最低です。日本には国民皆保険制度があります。病気になれば小額の自己負担で診療を受けることができる世界の規範とされている医療保険制度です。

そのうえ、医療支出はきわめて低く、OECD(経済協力開発機構)の医療費のGDP比率をみると、日本は加盟30カ国中21位、先進国の中では最低の8%です。ちなみに、アメリカ15.3%、フランス11.1%、ドイツ10.7%、OECDの平均9%です。

ところが、政府は国際的に見て低い日本の医療費をさらにおさえつけ、診療報酬と薬価の大幅な削減を行いました。2002年度2.7%、2006年度31.6%の削減を実施しました。その結果、経営不振に陥る病院が増えました。政府、厚生労働省は経営不振の病院はどんどん潰そうという方針になっているとしか思えません。ちなみに藤枝市立総合病院も診療報酬の減額改定により年間3億円程減収になりました。

医師不足も財政を理由に97年から医師養成の抑制策を強化した結果です。2004年における日本の医師数は人口千人当たり2.0人です。OECD平均3.0人、OECD加盟30カ国中27位です。さらに卒後研修制度が始まったことにより、より医師不足となり、地方ほど医師不足になりました。このように医療システムの崩壊は国の医療政策の誇りだと思えます。

■ 幹事報告

青島 彰君

- ・静岡第五分区ガバナー補佐よりIMの礼状が届いています。出席ご苦労様でした。
- ・明誠高校バスケット部全国大会協賛の礼状が届いています。

■ 出席報告

鈴木 廣利君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
24 / 38 63.16%	32 / 39 82.15%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○石垣君 ○北村君 ○杉浦君 ○水野君
○山田君 ○成瀬君 飯塚君 板倉君 鈴木舜君
鈴木晶君 仲田晃君 望月晃君 村松徳君 望月志君

(2)メイクアップ者

村松 宏一君(島田・藤枝南)

北村 幸男君(藤枝南)

■ 外部卓話

『県政の現状』

北村 正平氏



3.「県の役割とは何か。」を皆で考える時です。



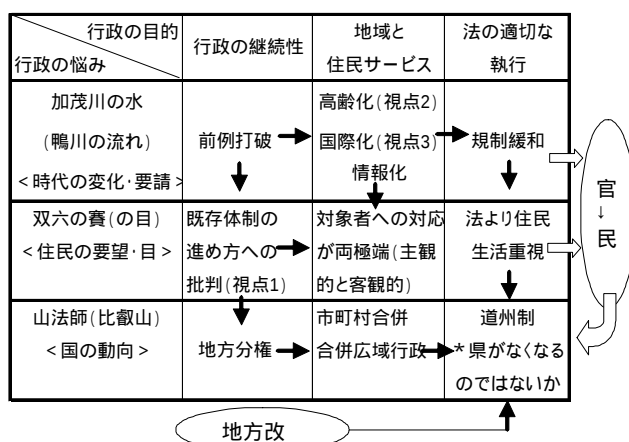
1. 今、「行政とは何か。」が問われています。

- ・行政は継続性が常に大切。
- ・行政は地域と住民サービスが常に大切。
- ・行政は法の適切な執行が常に大切。

2. しかし、行政を取り巻く環境が変化し、

対応が難しい時代です。

- 職員は、多様な対応とともに、責任と専門性も求められています。 -



(担当 / 春原)